

専門実践教育訓練明示書

講座の名称	実践的WEBアプリケーション開発研修(スタンダードコース)				
実施方法	通学(平日9:00~18:00)※オンライン同時双方向型				
指定講座番号(15桁)	1312066	—	2520011	—	8
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間	過去一年の講座実績	入講者数(8人)	修了者数(8人)	
令和6年4月1日	令和10年9月30日まで				
訓練期間	6ヶ月		総訓練時間	480時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格() <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程() <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム() <input type="checkbox"/> 専門職大学院() <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム() <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格() <input checked="" type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座(ITSSレベル3) <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科()				
	教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等				
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	-				
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	-				
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	IT業界全般				
2. 教育訓練の内容					
教科(カリキュラム)	時間	使用教材名			
JavaScriptプログラミング基礎	116	確かな力が身につくJavaScript「超」入門			
JavaScriptプログラミング応用(DOM、イベント)	64	確かな力が身につくJavaScript「超」入門			
Rubyプログラミング基礎	24	プロを目指す人のためのRuby入門			
テストコード基礎	32	プロを目指す人のためのRuby入門			
Ruby on Railsフレームワーク基礎	128	パーフェクトRuby on Rails			
Ruby on Railsフレームワーク応用/製造演習	116	パーフェクトRuby on Rails			
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)					
①受講するに当たって必要な実務経験等	•PC操作、タイピング •プログラミング言語の基礎理解(任意の言語経験でOK)				
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	•Webアプリの仕組みの理解(データの受渡) •フレームワークの利用経験・エディターの利用経験(メモ帳でもOK) •統合開発環境ソフトの利用経験				
③その他					

[特記事項]

専門実践教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	8	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	8	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	-	人	受験率(③/②)	-	%
④ ③のうち合格者数	-	人	合格率(④/③)	-	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	-	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	8	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	100.0	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時の仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	8	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	8	人	②A:就業者計	
	2 非正社員、派遣社員	人	人	8人	
	3 その他の就業(自営業等)	人	人	②B:非就業者計	
	4 非就業	人	人	8人	
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	8	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	人	人	8人	
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	人	人	④A:就業者計	
④ 受講後の就業形態	1 正社員	8	人	8人	
	2 非正社員、派遣社員	人	人	④B:非就業者計	
	3 その他の就業(自営業等)	人	人	8人	
	4 非就業者	人	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)	
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	人	人	8人	
	2 1割以上3割未満増加した	人	人	⑥の回答数合計	
	3 1割未満増加した	4	人	8人	
	4 変わらない	4	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	5 1割未満減少した	人	人	0人	
	6 1割以上3割未満減少した	人	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	7 3割以上減少した	人	人	8人	
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	4	人	⑨の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	4	人	0人	
	3 社内外の評価が高まる	人	人	⑩の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	4 早期に転職・再就職できる	人	人	8人	
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	人	人	⑪の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	人	人	0人	
	7 趣味・教養に役立つ	人	人	⑫の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	8 その他の効果	人	人	8人	
	9 特に効果はない	人	人	⑬の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	人	人	⑭の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3~6か月以内に就職した	人	人	0人	
	3 受講修了後6~12か月以内に就職した	人	人	⑮の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	4 就職していない	人	人	8人	
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	6	人	⑯の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	2	人	8人	
	3 どちらとも言えない	人	人	⑰の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	4 やや不満	人	人	8人	
	5 大いに不満	人	人	⑱の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 LMS内の各カリキュラムの進捗率とカリキュラム内に設けてある理解度テストの結果や提出課題の内容によって把握・測定を行う。

(通信制講座の場合)
スクーリングの実施場所、時期、期間・回数

専門実践教育訓練明示書(様式例)

6. 受講効果の把握方法	
(1)受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	通信型での受講スタイルの為、出席率に依存しない。 その為、カリキュラムの進捗率80%以上を受講認定基準とする。 80%に満たない者に対しては、講師のフォローを行っていく。
(2)受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	課題問題に対する提出物にて技能・知識のレベル到達度を把握・測定する。 提出物に関しては、LMSに実装されている生成AIと講師によりレビューを行い、修正箇所があれば指摘を行う。 指摘事項がなくなった時点で課題提出完了となり、カリキュラムの進捗が進む。提出完了となるように講師のフォローを行う。
(3)修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	各カリキュラムの進捗率については、 100%を修了認定の判断基準とする。
(4)修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	LMS内の各カリキュラムの進捗率とカリキュラム内に設けてある理解度テストの結果や提出課題の内容によって把握・測定を行う。
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	・弊社LMSはネット環境さえあればログインできるため、時間や場所にとらわれず学習することができるシステムとしている。 さらに、生成AIによる自動回答機能、自動ソースコードレビュー機能を実装しており、生成AIによる技術的なサポートを24時間受けることができる。 ・週に1回、オンラインツールにて講師と面談し、学習状況をサポート ・LMS上で講師に相談予約をとることができ、週1回の講師面談以外でもオンラインツールにて1on1で相談対応可能(原則:平日10:00-18:00) ・LMS上のコメント機能で講師とやり取りすることも可能
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	月1回、 学習サポートやキャリアカウンセリングのためのオンライン個人面談を実施
8. その他の事項	
指定教育訓練実施者名及び代表者名	株式会社ゼネット (代表者名: 四元一弘)
住所及び連絡先	東京都豊島区南池袋2-30-17朝日生命南池袋ビル2 TEL 03-5979-1621
施設名称及び施設長名	Xlaboセンター (施設長: 関本久史)
住所及び連絡先	東京都豊島区南池袋2-30-17朝日生命南池袋ビル8F TEL 03-5979-1621
苦情受付者	氏名 西島 由祐 所属 情報管理部 事務担当者 氏名 中島裕樹 所属 営業部
連絡先	TEL 03-5979-1621 連絡先 TEL 03-5979-1621
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 8 7 1 2 0 0 円
支払い方法	①入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)
①一括払	0 円
②分割払	8 7 1 2 0 0 円 第1期 8 7 1 2 0 0 円 第2期 0 円 第3期 0 円 第4期 0 円 第5期 0 円 第6期 0 円 (うち、必須教材費 9 8 3 4 円)
③両方可能	②受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)
2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 0円	
① 任意の教材費(税込額)	円
② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	円
③ 施設維持費(税込額)	円
④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	円
3. 総額 (1+2) (税込額)	871200 円